

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付…2022年9月15日

2. 認定事業再編事業者の名称 …株式会社静岡銀行

3. 認定事業再編計画の実施期間…2022年10月～2025年3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況…認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（単独株式移転による持株会社設立の概要）

<新設会社>

名称：株式会社しずおかフィナンシャルグループ

住所：静岡県静岡市葵区呉服町一丁目10番地

代表者の氏名：取締役社長 柴田 久

設立日：2022年10月3日

資本金：90,000,000,000円

<株式移転を行う会社>

名称：株式会社静岡銀行

住所：静岡県静岡市葵区呉服町一丁目10番地

代表者の氏名：取締役頭取 八木 稔

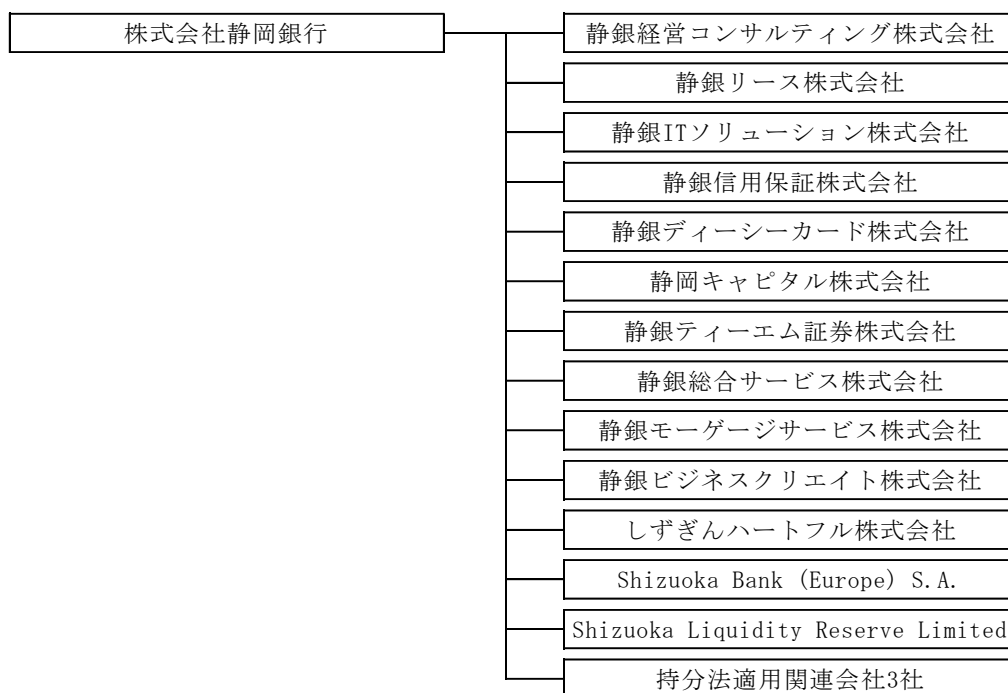
資本金：90,845,740,501円

<株式移転比率>

1（持株会社）：1（静岡銀行）

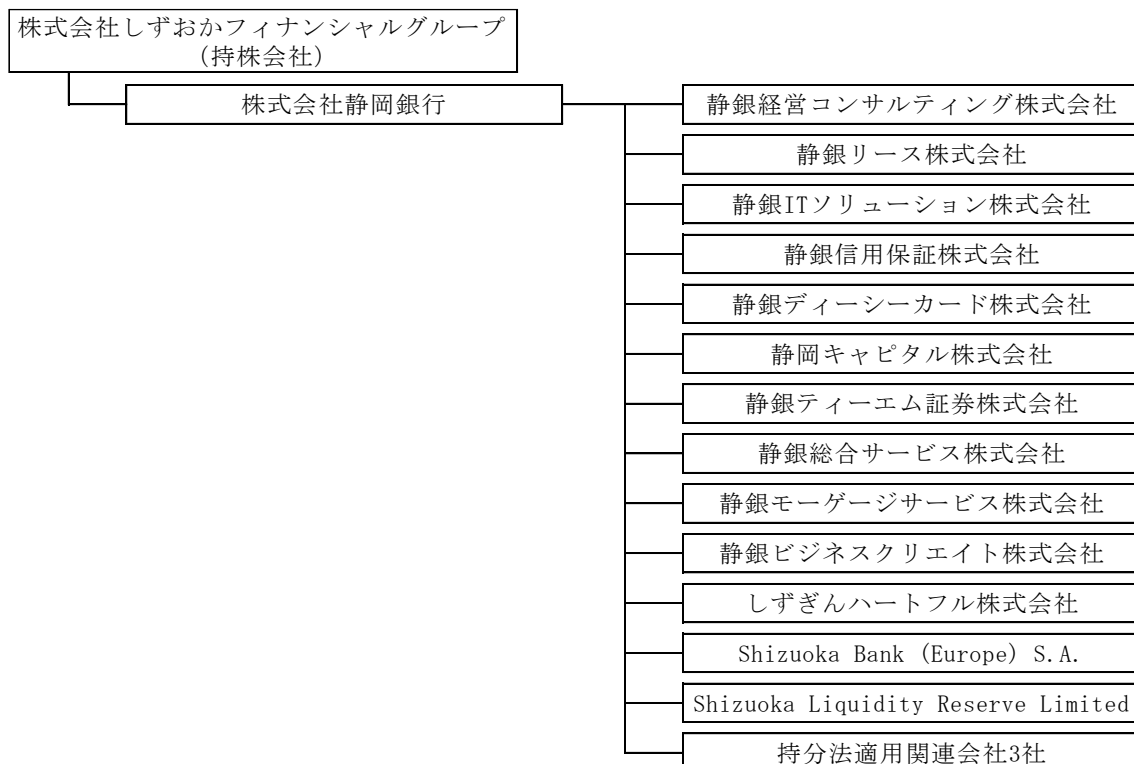
静岡銀行は、次のとおりグループストラクチャーを再編し、持株会社体制への移行を実施した。

(i) ≪ 持株会社設立前 ≫



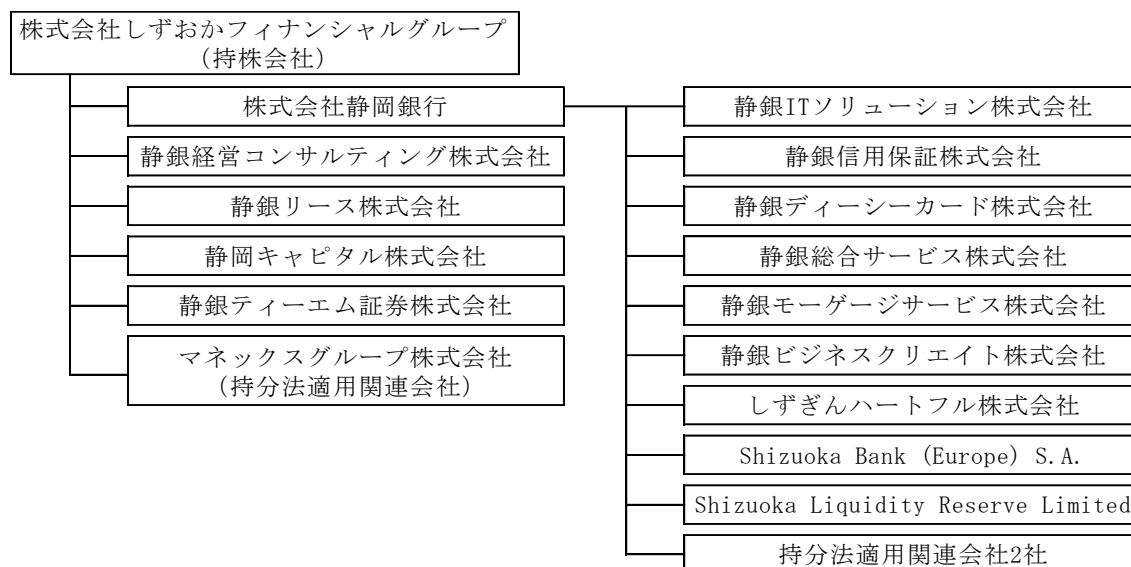
(ii) ≪ 第 1 段階 ≫ 単独株式移転による持株会社設立

2022年10月3日を効力発生日として本株式移転により持株会社を設立したことで、静岡銀行は持株会社の完全子会社となった。



(iii) ≪第2段階≫グループ内事業会社の再編

持株会社設立後、グループ内の連携やシナジーの更なる強化等の観点から、静岡銀行の連結子会社である、静銀経営コンサルティング株式会社、静銀リース株式会社、静岡キャピタル株式会社、静銀ティーエム証券株式会社、マネックスグループ株式会社（持分法適用関連会社）の計5社について、持株会社の直接出資会社として再編した。



(前向きな取組)

静岡銀行単独による株式移転により持株会社（完全親会社）である「株式会社しずおかフィナンシャルグループ」（以下「持株会社」という。）を設立した。

持株会社体制のもと、社会価値の創造と企業価値の向上の双方に影響が大きい地域の社会課題を当グループのマテリアリティ（重要課題）として選定し、4つの基本戦略（「地域共創戦略」「グループビジネス戦略」「トランスフォーメーション戦略」「グループガバナンス戦略」）を通しその解決に取り組むことにより、「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」を目指している。

持株会社では、監査等委員会設置会社として監査等の機能を強化するとともに、取締役会の監督のもと、子会社各社の社長も出席するグループ経営会議や、分野毎にグループ全体を統括する役員であるグループC x O（チーフオフィサー）を設置すること等により、グループを見渡した経営資源の配分やグループシナジーの創出を図るなど、グループ経営を強化し、企業価値の向上を図っている。

静岡銀行が当グループ内外におけるコーディネーターの役割を担い、地域の窓口となる営業店の評価制度に「社会価値創造」の考え方を組み込むことで、各地域が抱える多様な社会課題の解決に向けた支援に取り組んだ。

また、多様化や複雑化が進む地域のマテリアリティに対し新たな解決策を提案するために、SFG不動産投資顧問（2023年度新設グループ会社）が有する不動産や関連金融に関する知見を活用し、自治体などとも連携したまちづくりへの参画を開始したほか、地域の労働力不足の問題に対し、SFGマーケティング（2023年度新設グループ会社）が一定の専門性を有する在留資格である「特定技能」を中心に外国人の職業紹介事業を開始するなど、グループ各社が連携しながら地域共創戦略の具体的な進捗を図った。

地域の総合金融グループとして、金融仲介機能を発揮するとともにその役割を発展させていくため、事業を営むお客さまに対する円滑な資金供給や多様な事業支援、個人のお客さまに対する金融サービス提

供や幅広いライフプランニング支援等に取り組んだ。

持続可能な地域社会の形成に向けたサステナブルファイナンス目標（2030年度迄の10年間累計で2兆円）に対し、静岡銀行をはじめとするグループ各社の取り組みを通じて2024年度末迄に約6割の進捗が図られた。また、地域経済の活力を未来へつなぐ「事業承継」の支援にも継続的に注力し、静銀経営コンサルティングが提供するM&Aや事業承継スキーム、静岡キャピタルが運営する事業承継ファンド、静岡銀行の融資等を適切に組み合わせながら多角的な支援に取り組んだ。

くわえて、当グループの環境方針に基づき、グループ各社が連携しながら脱炭素社会の実現を目指した事業を展開し、静銀経営コンサルティングが、地産地消のカーボンニュートラルを浸透させるためにJ-クレジットの登録・認証支援に加えて販売業務に着手したほか、関東経済産業局管内の1都10県におけるJ-クレジット創出や活用を支援する事業を同局から受託するなど事業領域を広げた。また、静銀リースでは、環境省が認定するESGリース促進事業の展開やカーボンオフセットリースの提供に加え、再生可能エネルギーの地産地消に貢献する電力事業の実証実験に向けた体制整備を進めた。

そのほか、静岡銀行と静岡キャピタルにおけるベンチャー企業への投融資や事業支援、静銀ITソリューションやティージェイエス（非連結子会社）、静銀経営コンサルティングの専門性を活かしたDX支援等、地域の産業基盤の維持・拡充に向けた事業を展開した。

個人のお客さまに対しても、NISA制度の拡充を受けて資産形成・資産運用の機運が高まるなか、静銀ティーム証券と静岡銀行が各々の専門性を発揮し相互に連携しながら、お客さま本位の業務運営のもとライフステージやニーズに応じた総合的な提案を実践した。その結果、金融経済教育の拡充やNISA口座の増加等も背景に、当グループの個人預り資産の残高拡大を実現した。

経営戦略を実現する人財やデジタルの経営基盤の拡充も進めており、地域やお客さまの多様な課題解決を支援する人財育成の取り組みをグループ各社において拡充し課題解決力の強化を図ったほか、地域とともに新たな社会価値創造に取り組む「価値創造型人財」の育成に向け体系化したプログラムの運用を拡大するなど、人財ポートフォリオ変革の取り組みを進めた。

また、先進的なデジタル技術やデータの利活用を通じ、経営環境が変化するなかでも継続的に新たな価値を創造していくことが可能な業務運営体制の構築に取り組んでおり、データサイエンス分野にかかる組織体制の拡充を図りつつ、営業推進や業務管理等においてデータ利活用の実証を推進した。

くわえて、事業や業務への生成AI活用に向けて、全ての役職員を対象に生成AIの利用環境を整備したほか、役職員によるアイデアコンテストの開催等を通じた好事例の共有など、より実効性の高い活用に向けた環境づくりに取り組んだ。社内照会業務へのAIチャットボット活用やシステム開発プロセスへの生成AI活用に向けた実証実験など、事業変革や生産性向上に資する取り組みも進めた。

（2）生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、2024年度は2021年度と比べて固定資産回転率を26.0%向上させることを目標としていたところ、実際には76.5%向上した。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数（2022年9月末時点）

	計画	実績
株式会社静岡銀行	2,670人	2,667人
株式会社しずおかフィナンシャルグループ	0人	0人

(2) 事業再編の終了時期の従業員数（2025年3月末時点）

	計画	実績
株式会社静岡銀行	2,700人	2,642人
株式会社しずおかフィナンシャルグループ	25人	23人

(3) 事業再編に充てた従業員数（2025年3月実績）

	計画	実績
株式会社静岡銀行	—	181人
株式会社しずおかフィナンシャルグループ	—	23人

(4) (3)中、新規採用された従業員数（2025年3月までの実績）

	計画	実績 ^{※1}
株式会社静岡銀行	—	5人
株式会社しずおかフィナンシャルグループ	—	2人

※1 認定事業再編計画に充てた従業員数（上記（3））に該当する者のうち同計画期間における新規採用者の合計数を計上。なお、同計画期間における株式会社静岡銀行全体の新規採用者の合計数は731人、株式会社しずおかフィナンシャルグループ全体の新規採用者の合計数は2名。

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数（2025年3月までの実績）

	計画	実績
出向人員数	—	9人 ^{※2}
転籍人員数	0人	0人
解雇人員数	0人	0人

※2 年度ごとに、株式会社静岡銀行と株式会社しずおかフィナンシャルグループにおける、当該2社以外のグループ会社等との間の出向関係を含む「①出向」（当該会社の従業員数カウント上マイナス）と「②出向受入」（同プラス）を合算した純増減を計算し、純増となる場合は「②出向受入」、純減となる場合は「①出向」に計上。当該9人は「①出向」に計上された認定事業再編計画期間の合計人数であり、別に「②出向受入」に計上された同計画期間の合計人数は28人となる。なお、本事業再編に充てた従業員は当該2社における出向によりまかなっているところ、同計画期間の純増は204人であり、内訳は株式会社静岡銀行から株式会社しずおかフィナンシャルグループへの専担出向者が23人、株式会社静岡銀行と株式会社しずおかフィナンシャルグループの兼務出向者が181人の状況（上記（3）の実績値に相当）。